

	便宜上の呼称	決算書での呼称	R4決算	R9 改定なし		R9 改定あり	R14 改定あり
収益的 収入	売上(全体)	営業収益	99,118	94,486	⇒	122,361	116,611
	売上(水道料金)	料金収入	98,886	92,916	⇒	120,791	115,040
		その他	232	1,570		1,570	1,570
		営業外収益	133,862	89,272		89,272	95,757
	町からの補てん	他会計補助金	82,941	38,502		38,502	36,108
		長期前受金戻入	50,892	50,769		50,769	59,648
		その他	29	1		1	1
		収入計	232,980	183,758	⇒	211,633	212,368
収益的 支出	経費	営業費用	199,530	170,930		170,930	178,227
		営業外費用	15,094	9,990		9,990	10,438
	借金の利息の支払	支払利息	15,039	9,540		9,540	9,988
		その他	55	450		450	450
		支出計	214,624	180,920		180,920	188,665
	儲け	経常利益	18,356	2,838	⇒	30,713	23,703
	積立金(≒内部留保金)	繰越利益剰余金	69,718	45,838	⇒	73,713	206,101

補足事項

← ここが今世代への負担になります。

← 老朽化が進み、減価償却費が終わるものが増えるため、経費はしばらく減っていきます。

R14で増えているのは更新により減価償却費が増えるためです。

← R14で増えているのは更新による借金の利息が増えるためです。

	便宜上の呼称	決算書での名称	R4決算	R9		R9	R14
資本的 収入	借金の借り入れ	企業債	36,400	69,387		69,387	97,025
	町からの補てん	他会計補助金	65,201	40,699		40,699	22,403
		国(県)補助金	17,232	45,099		45,099	56,387
		工事負担金	829	1,026		1,026	1,026
		収入計	119,662	156,211		156,211	176,841
資本的 支出	老朽化対策の工事費用	建設改良費	55,295	155,512		155,512	194,439
	借金返済額	企業債償還金	130,377	81,398		81,398	44,806
		支出計	185,672	236,910		236,910	239,245
		資本的収入が資本的支出に不足する額	66,010	80,699		80,699	62,404
補填財源	借金や工事に使う内部留保金	損益勘定留保資金	66,010	80,699		80,699	62,404
	残った借金	企業債残高	1,084,304	778,379		778,379	937,372

← R9からR14で増えているのは物価高を借金で補おうとしているためです。

← R9からR14で工事費が増えているのは物価高を見越したものです。

← 借金は借りてから5年間は返済がない(利息のみ払う)ため当面は減っていきます。

← ここが将来世代への負担になります。物価高を借金で補い続けた場合はここも増え続けます。

その際は、どこかで事業量を減らすか、さらなる料金を改定する必要があります。

なお、今の計画は5年ごとに見直すこととなっています。次の計画更新は令和9年度頃の予定です。

○他会計補助金(町からの補てん)の抜粋

	R4決算	R9		R9	R14
収益的収支分	82,941	38,502		38,502	36,108
うち基準内繰入金	7,520	4,770		4,770	4,994
うち基準外繰入金	75,422	33,732		33,732	31,114
資本的収支分	65,201	40,699		40,699	22,403
うち基準内繰入金	65,201	40,699		40,699	22,403
うち基準外繰入金	0	0		0	0
合計	148,142	79,201		79,201	58,511

← 国に認められている部分です。支払った借金利息の1/2を町から補てんしてもらう予定です。

← 赤字にならないように町から補てんしてもらう予定のお金です。将来的には0円が望ましいです。

← 国に認められている部分です。支払った借金の1/2を町から補てんしてもらう予定です。